

市議会だより

No.215

令和元年11月10日発行

編集／発行

福井市議会だより編集委員会

福井市大手3丁目10番1号

TEL.0776-20-5506



足羽山公園遊園地内の
ふれあい動物舎「ハピジャン」

ハピジャンの新しい仲間
「カピバラ」

9月

定例会

(9月2日～9月26日)

市長提出の議案23件、報告10件を
審議しました

主な議案は6ページ

審議結果は14～15ページ

陳情3件を審議しました

審議結果は15ページ

議員提出議案2件を審議しました

審議結果は15ページ

議員20人が一般質問を行いました

詳細は8～12ページ

特集記事

● 常任委員会県外視察報告

……………2・3ページ

● 市議会をのぞいてきたよ！

……………4・5ページ

↑ 足羽山公園遊園地内の「ハピジャン」

熱帯雨林のジャングルの中で、動物たちとハッピーに触れ合ってほしいとの思いが込められた施設です。

ハピジャンは、雨や雪の日でも楽しむことができ、建物内は、動物と来園者を隔てる仕切りがないため、動物たちの生き生きした姿を間近で観察できます。

常任委員会県外視察報告

総務委員会

日程：令和元年7月29日(月)～30日(火)

視察先：埼玉県深谷市「マイナス入札の導入
及び公共施設適正配置の取り組みについて」
富山県高岡市「たかおかPRアンバサダーについて」
「高岡市公共施設再編計画について」

7月29日、30日に埼玉県深谷市と富山県高岡市に視察に伺いました。
深谷市では「マイナス入札の導入及び公共施設適正配置の取り組みについて」視察し、特にマイナス入札については全国でも事例のない取り組みで、老朽化し廃校となった小学校の体育館の解体費が地価を上回り、譲渡先がなく長年放置されていた状況であったため、跡地を宅地として利用することを条件にマイナス入札に踏み切り、予定価格を上回り成立したということです。跡地が住宅地となれば深谷市に固定資産税や住民税が入りメリットがあるということですが、マイナス入札には、「お金をつけて売却するのか」という市民感情や法的手続き、議会の承認など課題が多くあり、全国的には広がりを見せていないとのこと。福井市においても同様の老朽化施設があり、今後、研究、検討していく必要はあると思います。また、深谷市のマスコットキャラクターである「ふっかちゃん」は2014年度ゆるキャラグランプリで準優勝に輝きシティプロモーションに大いに貢献しており、さらに深谷市の偉人である渋沢栄一氏が新一万円札のデザインに決定し、今後のまちづくりに生かしていきたいとのことでした。



埼玉県深谷市

高岡市では「たかおかPRアンバサダーについて」及び「高岡市公共施設再編計画について」お話を伺いました。北陸新幹線開業の先進地であり、現在進めている公共施設再編の取り組みにおいても、内容が福井市と類似している部分もあり、福井市にとりましても先事例として大いに参考すべき視察となりました。今後の議会活動に反映していければと思います。

建設委員会

日程：令和元年8月19日(月)～20日(火)

視察先：富山県富山市「市街地再開発事業について」
群馬県高崎市「空き家緊急総合対策事業について」

建設委員会では、8月19日、20日に富山市と高崎市に先進地視察に伺いました。

初日は富山市に伺いました。福井市でも2023年春の北陸新幹線福井開業に向け市街地再開発を進めていますが、先に新幹線開業を迎えた富山市の市街地再開発事業を視察してまいりました。市街地再開発においては、高度利用によって生み出された保留床の活用が、大きな課題であるようです。今回現地視察を行った桜町一丁目4番地区市街地再開発事業の再開発ビルにおいては早い時期に専門学校、分譲マンション、既存ホテルの大幅な増床が前提とされました。本市も市街地再開発を進めていくに当たり、参考になる事例でした。



群馬県高崎市

2日目は高崎市に空き家緊急総合対策事業について視察してまいりました。高崎市では空き家の管理・老朽危険空き家の活用等を支援する8つの助成制度を予算の範囲内で設けています。中でも特色のある制度として、高齢者や子育て世代などが気軽に利用できる地域サロンとして活用する場合の改修費用の一部助成のほか、空き家を地域サロンとして借りる場合に家賃を補助しています。空き家をサロンとして活用することで、空き家対策としてのみならず地域コミュニティの活性化にも繋がっています。人口減社会において、今後福井市においても空き家に関わる諸問題はなお一層顕在化すると懸念していますが、高崎市の事例を参考にして本市の空き家対策事業をよりよいものにしていくことが重要であると感じました。

教育民生
委員会

日 程：令和元年8月19日(月)～20日(火)

視察先：岡山県倉敷市「倉敷市学校給食共同調理場整備事業について」
兵庫県神戸市「認知症『神戸モデル』診断助成制度
及び事故救済制度について」

倉敷市では、4つの学校給食共同調理場の老朽化に伴い、最新の衛生管理基準への対応が困難になってきたことや調理業務の効率化、コスト削減の観点から4調理場を1つに集約した「倉敷市学校給食共同調理場」を整備し、平成31年4月1日から操業を開始しました。

この施設では、安全・安心な給食を提供するため、HACCPの概念に基づく徹底した衛生管理と1日3種類の献立の作成、アレルギー対応専用調理室の設置などによりリスク分散を図っています。また、施設内に見学通路や食育展示コーナー等を設けて食育の啓発等にも取り組んでいます。市の担当者によると、令和元年5月1日現在で市内の小・中学校併せて20校、計9,549人の児童生徒に給食を提供しているとのことでした。また、食育に関しては、センターで実施するイベントは好評である一方、センター給食受配校は栄養教諭が配置されないため、学校でどのように食育を推進していくかが課題であるとのことでした。

神戸市は、「全国初！認知症『神戸モデル』」と称し、認知症の早期受診につながる診断助成制度及び認知症の方が起こした事故の救済制度を創設しています。診断助成制度は、診断受診者の自己負担額を全額補助するもので、令和元年8月現在で申込者は既に1万人を超えており、市民の認知症に対する関心の高さが伺えました。また、この「全国初！認知症『神戸モデル』」は、事業費3億円の財源を確保するため、超過課税を導入しているところも非常に特徴的でした。

今後、少子高齢化の進展に伴い、増え続ける社会保障費の財源を確保しながらも市民のニーズに適応した行政サービスを実施していくためには、業務の効率化やコストの削減による歳出予算のスリム化、超過課税等も検討し、先進地の優れた事例を積極的かつ迅速に取り入れ、市が一丸となって取り組んでいくことが重要であると感じました。



岡山県倉敷市

経済企業
委員会

日 程：令和元年8月21日(水)～22日(木)

視察先：山口県下関市「下関市観光交流ビジョン2022について」
山口県周南市「中心市街地の活性化について」

下関市は、武蔵と小次郎の決闘の地・巖流島、源平合戦の地・壇ノ浦を抱え、幕末維新の舞台にもなった歴史資産の多い都市であり、また、地理的には東・南・西が海に面しており、古くから韓国・釜山との交流がありました。国内外から多くの観光客が訪れており、2012年には10年先を見据えての観光戦略をまとめた「下関市観光交流ビジョン2022」を策定しました。この中で「観光交流都市」を宣言し、観光客数1,000万人、宿泊客数100万人と目標を定め、いくつもの観光振興施策を実施しています。これまでの成果については、宿泊数は一定の成果をあげているのに加えて観光客の滞在消費額は目標を上回っています。MICEの誘致にも成功し、平成27年には12,000人規模の大会を成功させています。近年は特にインバウンド誘客に力を入れており、外国人観光客数も大きく伸びています。

周南市の中心となる徳山は、瀬戸内海に面した重化学工業都市であり、新幹線によって、南は工業地域、北は商業・住宅地域と分かれています。徳山駅の駅ビルは昭和44年の建造で老朽化が目立ち、建てかえが急務でした。また、JRの地下を通る南北自由通路もバリアフリー化されていませんでした。そこで、エスカレーター、エレベーターを整備した南北自由通路を新設するとともに、書店・図書館・喫茶店を備えた賑わい交流施設が新築されました。一つのフロアの中に書店と図書館が混在し、市民がコーヒーを飲みながら本を読んでいる光景は鮮烈でした。また、この賑わい交流施設の取り組みには、図書館利用者とまちの人をつなぐ「図書館サポーター制度」があり、周南市に関わる人たちのコミュニケーションがかなり活性化されたとのこと、大変興味深い取り組みでした。



山口県下関市

市議会をのぞいてきたよ！



福子

市議会の本会議を見学してきました

本会議では市政に関することから身近な地域のことまで、多くのことが話し合われています。市役所8階で簡単な受付をするだけで傍聴することができます。今回は議会を傍聴した福子さんと井太郎くんに、議場の様子を伝えてもらいます。

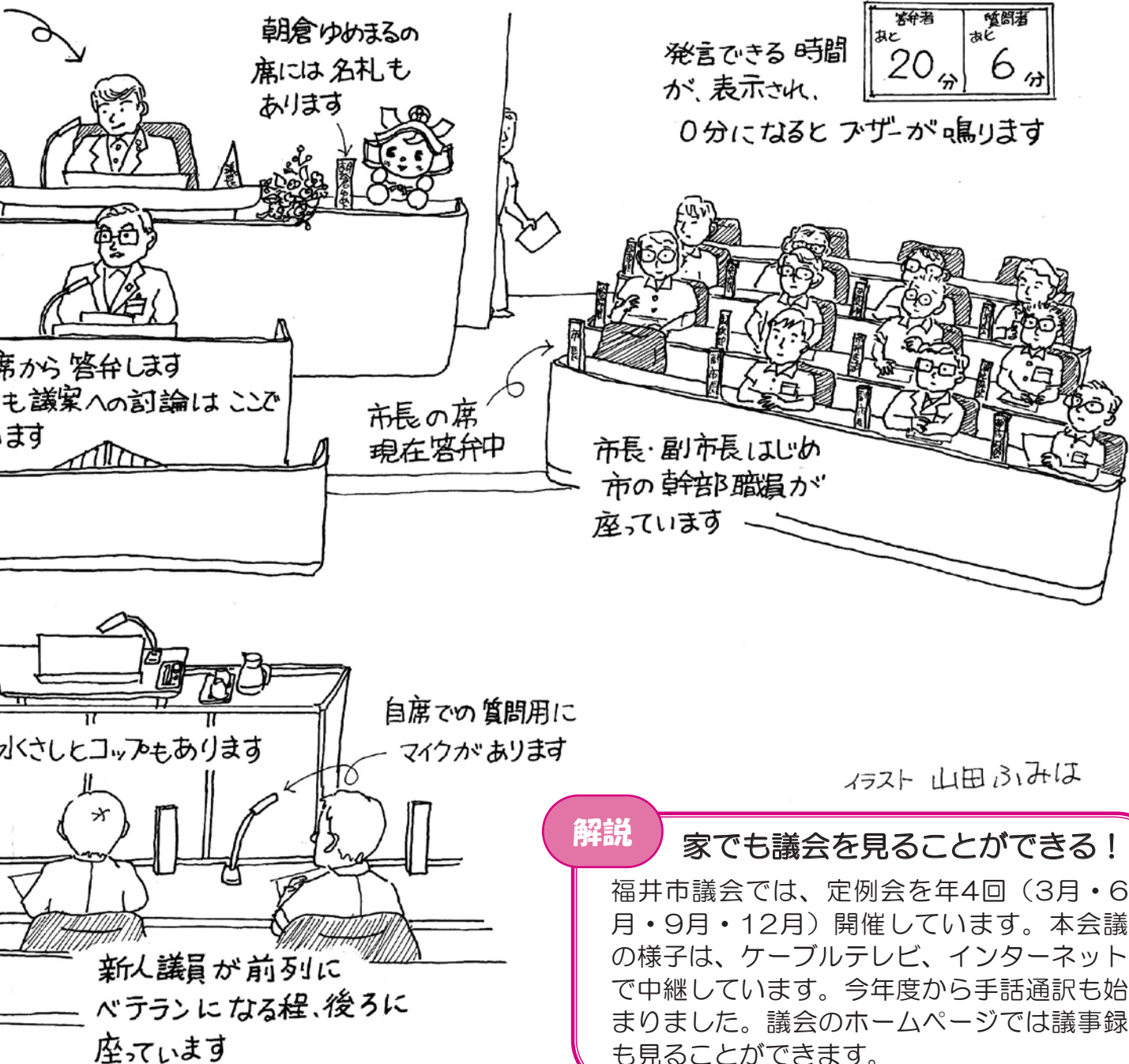


イラスト 山田ふみほ

解説

家でも議会を見ることができる！

福井市議会では、定例会を年4回（3月・6月・9月・12月）開催しています。本会議の様子は、ケーブルテレビ、インターネットで中継しています。今年度から手話通訳も始まりました。議会のホームページでは議事録も見るすることができます。

解説

一般質問

本会議では、市政全般にわたって各議員が一般質問を行います。市の様々な政策や地域の課題など、様々な質問がされて、みなさんの生活に身近なことも話題になっています。

こちらを向いて座っているのが、市長や市の幹部職員だね。そして向かい合って議長を除く31人の市議会議員が座っているよ。



なんで、今質問されたのに、答弁する人が原稿読んでるの？

質問する内容は、前もって通告してあるんだよ。そうしないと、いきなり聞かれても細かい数字とかが答えられないからね。

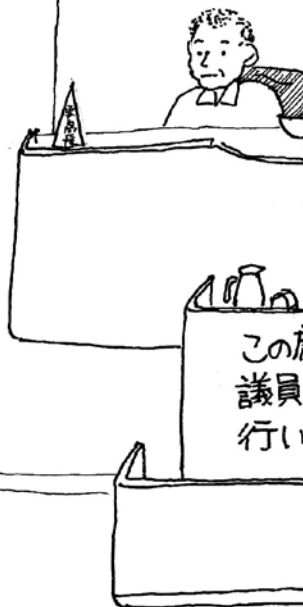


議長が議事を進行します

後方には議会事務局の職員がいます



こちら側にも市の幹部職員



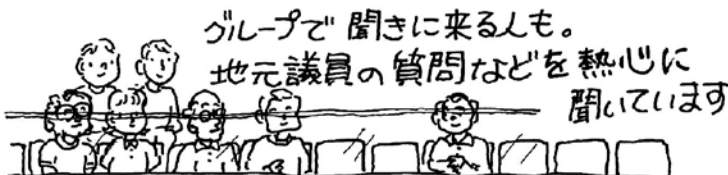
解説

質問の持ち時間

一般質問は初めは総括質問で、持ち時間は25分です。議員のみなさんは質問席に立って聞きたいことを質問します。答弁を聞いた後、再質問するときは自分の席で、一問一答形式で行い、議員の持ち時間は5分です。議場内に残り時間が表示されます。

傍聴席

議員側 後方にあります

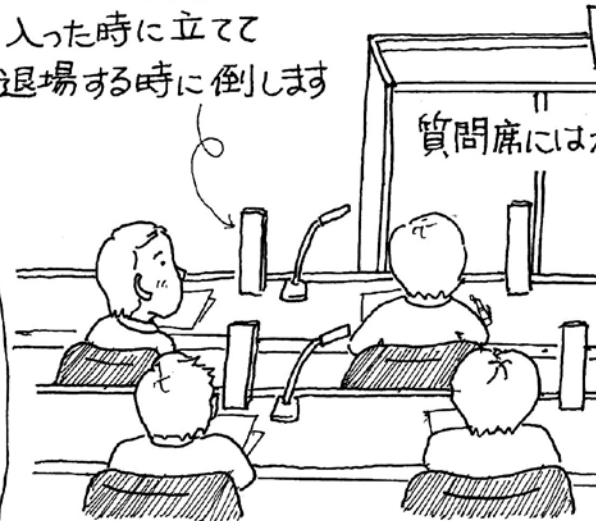


グループで聞きに来る人も。地元議員の質問などを熱心に聞いています

記者席からマスコミ各社の記者さんが取材



名札は議場に入った時に立てて退場する時に倒します



特別委員会が設置されました

(敬称略) ◎委員長 ○副委員長

委員会名	予算特別委員会							
委員名	◎八田 一以 今村 辰和 泉 和弥	○野嶋 祐記 奥島 光晴 菅生 敬一	皆川 信正 鈴木 正樹 寺島 恭也	石丸 浜夫 玉村 正人 榊原 光賀	青木 幹雄 藤田 諭 酒井 良樹			
調査項目	各会計当初予算、補正予算の審査及び市政上の重要案件							
委員会名	決算特別委員会							
委員名	◎皆川 信正 田中 義乃	○村田 耕一 藤田 諭	石丸 八田	浜夫 一以	青木 近藤	幹雄 實	下畑 健二 山田 文葉	
調査項目	各会計決算等の審査							

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、14～15ページに掲載しています。

令和元年度補正予算

今回の補正予算は、一般会計で9,027万8千円を増額するもので、補正後の一般会計予算額は、1,070億4,613万6千円となります。

また、特別会計では、後期高齢者医療特別会計で124万8千円を増額し、全会計で補正後の予算額は、2,071億7,138万4千円となります。

○一般会計補正予算

安全で安心な地域社会づくりを推進するため、子どもや女性に対する声かけ事案等の抑止や、通学路などの防犯体制の強化に繋がる防犯カメラの設置に対して支援する「防犯カメラ設置補助事業」、休日急患センター内にある福井県子ども急患センターの環境改善や利便性向上を図るため、十分な広さの診察室や待合室を確保する「休日急患センター整備事業」、国が消費税率の引き上げに伴う反動減対策とし

て令和2年度に実施を予定している、マイナンバーカードを活用した消費活性化のための取り組みに向けて、協力店舗等の募集・決定や、端末設定支援などの環境整備を行う「マイナンバーカード活用消費活性化環境整備事業」、NHK大河ドラマ『麒麟がくる』の放送開始にあわせ、主人公の明智光秀ゆかりの地である明智神社や西蓮寺へ訪れる観光客の増加が見込まれることから、観光客向けのトイレ、臨時駐車場及び案内サインを設置し、受け入れ環境の整備をする「光秀公ゆかりの地環境整備事業」、令和元年5月に認定された日本遺産「400年の歴史の扉を開ける旅」石から読み解く中世・近世のまちづくり 越前・福井」について、情報発信等の各種事業を行い、観光誘客を図る「日本遺産活性化推進事業」、畜産農家が経営拡大のために行う畜舎の増改築や省力機械の導入に対し支援する「畜産振興総合対策事業」

などに、9,027万8千円を計上するものです。

○後期高齢者医療特別会計補正予算

平成30年度に交付された後期高齢者医療システム改修事業に対する国庫支出金が確定したため、所要額を上回った部分の返還金として、124万8千円を増額するものです。

条例

○福井市地域交流プラザの設置及び管理に関する条例の一部改正について

福井市地域交流プラザの施設の管理及び運営を指定管理から市の直営に変更するためのものです。

○福井市印鑑条例の一部改正について

住民基本台帳法施行令等の一部を改正する政令の施行に伴い、印鑑登録証明書に旧氏を併記できるようにするとともに、所要の規定の整備を行うものです。

○福井市民生委員定数条例の一部改正について

市内の地区ごとの世帯数の増減等地域の実情を踏まえ、

民生委員の定数を変更するものです。

人事案件

○監査委員

令和元年9月21日をもって任期満了となる谷川秀男氏を引き続き同委員に選任することに同意しました。

○公平委員会委員

令和元年10月1日をもって任期満了となる中川美津恵氏を引き続き同委員に選任することに同意しました。

○人権擁護委員

令和元年12月31日をもって任期満了となる井村彰男氏、山本久美氏を引き続き同委員候補者として推薦することに意見を求められ、異議がない旨を答申しました。

市会案(議員提出議案)

地方自治法第99条の規定により、次の意見書を内閣総理大臣ほか、関係機関に提出しました。

○新たな過疎対策法の制定を求める意見書

○地方財政の充実・強化を求める意見書

委員会審査

各委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介します。
(日程順に掲載)

観光振興・歴史文化 活用対策特別委員会

《連携中枢都市圏における
観光施策の推進について》

問 ことし5月に認定を受けた一乗谷朝倉氏遺跡等の日本遺産や、来年のNHK大河ドラマの主人公である明智光秀ゆかりの地は、本市観光施策の目玉になるものだと考えるがどうか。

答 地域の歴史や魅力ストーリー化し、国内外へ戦略的に発信することで、観光誘客や地域活性化を図ることが期待できる日本遺産については、しっかりとPRしていく。

また、東大味にある明智神社など、明智光秀ゆかりの地には、大河ドラマの放映とともに相当数の観光客が訪れることが予測されることから、地元と協議をしながら対応をしていきたい。

要望 県内の日本遺産や明智光秀ゆかりの地を巡るような旅行商品を造成し、旅行会

社等へ積極的に売り込んでいただきたい。

問 メディア媒体を活用した情報発信も重要であり、タイミングを図りながら、集中的な投資を行っていくことが必要である。委員会で出された意見を精査した上で、市の認知度向上に必要なものをしっかりと予算化し、効果的なプロモーションへと繋げていく必要があるのではないのか。

答 市、県とともに観光計画を見直す時期でもあり、北陸新幹線福井開業までにやるべきこと、開業後も並行して取り組んでいくことを整理し、県、市、民間等の役割をより明確にするとともに、お互いの連携をしっかりと取りながら対応の仕方を考えていきたい。

建設委員会

《工事請負契約の締結について（東安居団地F棟新築工事）》

問 解体する東安居団地の建物より建設年度の古い市営住宅が市内には残っているのか。

答 東安居団地は昭和45年から50年にかけて建設したが、昭和20年代、30年代に建設した市営住宅も何棟がある。これらの住宅のうち、耐用年数を迎えているものは今後、用途を廃止していく予定である。

問 東安居団地の入居状況について。

答 今後改修予定の1号館と建てかえ予定の5号館は120戸に対して約80戸が空き家となっている。それ以外の新しい棟についても解体予定の古い棟から入居者が移転するため4戸の空き家がある。

問 どのような状況で空き家になっていくのかかわからないが、今後建てかえ等を進めなくても充足するのではないか。

答 東安居団地は計画的に建てかえを進めるため入居者の募集を停止している。福井市住宅基本計画では、市全体の需要推計等から、東安居団地の全棟建てかえ後の戸数も含め、令和8年度に管理戸数を約1,670戸にすることをしている。

総務委員会

《福井市地域交流プラザの設置及び管理に関する条例の一部改正について》

問 施設管理者が指定管理者から福井市になるが、午後10時までの開館にどのような勤務体制で対応するのか。

答 正規職員については時差勤務で対応し、非正規職員については勤務時間帯を区切って任用することで、時間外勤務が生じないような形で対応する。

問 商工労働部が10月に地域交流プラザへ移転することにより、経費がどれだけ削減されるのか、また新たに生じる経費があるのか。

答 第2別館の年間賃借料約2,700万円が削減になる。また、契約期間は年内までであるが、違約金は生じない。

経済企業委員会

《光秀公ゆかりの地環境整備事業について》

問 明智神社までの交通アクセスをどのように考えているのか。

答 現在は自家用車での来訪がメインであるが、今後はレンタカーやバスなど、自家用車以外のアクセス方法についても事業者や県と協議していきたい。

要望 福井駅に降り立ったときにすぐに目にとまるような看板やのぼり旗などの設置、また、ほかの観光地もあわせて周遊できるような仕掛けなど、今後増加する観光客への対応をお願いしたい。

教育民生委員会

《美山庭球場「ウイंक」の存続について》

意見 他に削減できる予算があるはずであり、地域の人たちの思いを推しはかり採択すべきとの意見や、施設マネジメントアクションプランに係る市民説明会が終わったばかりで、今すぐに判断するのは性急であり継続審査にすべきとの意見があった一方、施設マネジメントアクションプランの全体像に関しては、そののよし悪しを判断できるが、個別の施設の存廃については判断すべきものではないと考えるため不採択とすべきとの意見が出された。

一般質問

当面する諸問題について市の考え方を質問するため、9月9日から11日までの3日間、20人の議員が一般質問を行いました。

※ 議員名の前の番号は質問順、()内は会派名、質問内容の掲載は大項目のみです。

(敬称略)

<p>① 堀江 廣海 (一真会)</p> <p>1 市政について</p>	<p>② 田中 義乃 (一真会)</p> <p>1 都市再生緊急整備地域の指定について 2 北陸新幹線福井開業アクションプランについて 3 道路補修について</p>	<p>③ 藤田 諭 (志政会)</p> <p>1 福井市財政再建計画について 2 本市の観光戦略について</p>
<p>④ 岩佐 武彦 (政友会)</p> <p>1 市有施設の方向性について 2 福井フェニックスまつりについて 3 有害鳥獣対策について</p>	<p>⑤ 片矢 修一 (市民クラブ)</p> <p>1 福井市施設マネジメントアクションプランについて 2 セーレンプラネットについて 3 除雪計画と危機管理体制について</p>	<p>⑥ 下畑 健二 (公明党)</p> <p>1 福井市財政再建計画について 2 マイナンバーカードの普及と活用について 3 日本遺産活性化推進事業について 4 学校のICT環境整備について</p>
<p>⑦ 八田 一以 (一真会)</p> <p>1 民生委員について 2 地域福祉の担い手間の連携・協働について</p>	<p>⑧ 青木 幹雄 (政友会)</p> <p>1 当市のまちづくりについて</p>	<p>⑨ 村田 耕一 (市民クラブ)</p> <p>1 人口減少と高齢化への取り組みについて 2 働き方改革について</p>
<p>⑩ 鈴木 正樹 (日本共産党)</p> <p>1 福井市の財政問題について 2 学校給食の民営化について 3 市独自の奨学金の創設について 4 原発防災とその訓練について 5 東村市長の後援会の公民館利用について</p>	<p>⑪ 中村 綾菜 (無所属)</p> <p>1 福井丸岡RUCKによるスポーツを活用したまちづくりについて 2 子どもたちがよりよく学校生活ができる環境整備について 3 福井市施設マネジメントアクションプランに係る市民説明会及びその後について</p>	<p>⑫ 泉 和弥 (一真会)</p> <p>1 福井市におけるPFI導入可能性の検討について 2 福井市都市交通戦略について</p>
<p>⑬ 寺島 恭也 (一真会)</p> <p>1 ハザードマップから見た地域防災と避難所としての学校のあり方について 2 福井市墓地公園の設置及び管理について</p>	<p>⑭ 皆川 信正 (一真会)</p> <p>1 福井市総合防災訓練について 2 不登校について 3 観光振興及び歴史文化活用の取り組みについて 4 財政再建について</p>	<p>⑮ 山田 文葉 (日本共産党)</p> <p>1 子ども医療費助成制度の対象拡大と一部負担金の廃止について 2 重度障がい者医療費の窓口無料化について 3 民生委員児童委員の活動費について 4 要介護認定者への障がい者控除の案内について 5 反核・平和の取り組みについて</p>
<p>⑯ 福野 大輔 (一真会)</p> <p>1 災害時における防災情報の共有について 2 空き家対策について 3 モバイルバッテリーシェアリングサービスについて</p>	<p>⑰ 菅生 敬一 (公明党)</p> <p>1 地球温暖化対策に関する実行計画について 2 自転車利用の推進について 3 北陸新幹線福井開業時の特急存続問題について 4 選挙の投票終了時刻の繰り上げについて</p>	<p>⑱ 榊原 光賀 (政友会)</p> <p>1 福井市ICT利活用推進計画について</p>
<p>⑲ 奥島 光晴 (一真会)</p> <p>1 全国学力・学習状況調査の結果と道徳教育について 2 ふれあい動物舎ハピジャンの今後について</p>	<p>⑳ 近藤 寛 (無所属)</p> <p>1 福井市ふれあい公社について 2 適切な結婚教育について 3 平成30年度普通会計の決算状況について 4 公共施設の削減と財政再建について 5 水道事業の収益計上の時期について 6 下水道事業の繰入金と値上げについて</p>	

一般質問要旨



ほりえ ひろみ
議員
堀江 廣海
一真会

市政について

質問

市長のトップダウンによる思い切った施策の展開を期待するが、市長自身の政策立案に対する自信と自負は。また、人口ビジョン・総合戦略の改定に当たって、市長は具体的にどのような関与をするのか。

回答

これまでこれを行うことが将来にわたり市民のためになるかどうかを判断基準に市政を進め、中核市への移行、全国に先駆けた学校施設のエアコン整備などに取組んできた。今後、市政を方向づける方針については、みずから先頭に立ち、リーダーシップを発揮して決定していく。

人口ビジョン・総合戦略の策定に当たっては、本部長を務める福井市未来づくり推進本部にて、現在、策定作業を進めている。今後、各部署からの提案を受けとめ、さらに自身の思いや考えを織り込むことで、新しい時代の人口減少対策の道しるべとなる総合戦略を策定していく。



たなか よしのり
議員
田中 義乃
一真会

北陸新幹線福井開業に向けた駐車場整備について

質問

3年半後に迫った北陸新幹線福井開業で福井駅周辺の駐車場の必要性が増すが、駐車場の不足台数は。

また、観光消費額が上がる長期滞在型観光を目指すなら、長期駐車ニーズに応える大規模な高層民間駐車場が必要と考えるが、駐車場の整備方針は。

回答

北陸新幹線福井開業による駅周辺の駐車場需要は、国土交通省の整備新幹線小委員会における県内の駅利用者数の予測をもとに、新幹線利用者の駐車場は約550台必要と推計している。

今後の商業・業務施設等の建築による駐車需要に対しては、附置義務駐車場の整備により対応が可能と考えているため、公営の新たな駐車場整備は行わず、民間が投資しやすい環境となるよう駐車場整備の支援について検討していく。



ふじた さとし
議員
藤田 諭
志政会

福井市財政再建計画について

質問

財政再建計画により多くの市民に協力を仰ぐ中で、補助金の一律10%カットは、各種団体や市民活動団体によるまちづくり、地域おこし等の活動の停滞につながるかねないが、今後どのように考えているのか。

回答

特定の団体に対する補助金については、今年度当初予算において公平性の観点から全ての団体を対象に、原則、一律10%の削減を行った。

あわせて、補助金の妥当性や団体の自立性の観点などから適正な補助率であるか、団体の運営補助となっていないかなどについて精査を行っており、次年度以降も、この補助金額をベースとして、団体の事業内容に応じた適正な補助金となるよう努めていく。



いわさ たけひこ
議員
岩佐 武彦
政友会

市有施設の有効活用について

質問

福井市施設マネジメントアクションプランで機能廃止予定になっているみやま長寿そば道場ごっこおさん亭は観光客を呼び込む体験型施設として活用できないか。

また、市内にあるソフトボール専用グラウンドを多目的に使えるよう改修し、多くの市民に開放すべきと考えるがどうか。

回答

稼働率や費用対効果の低い施設、老朽化施設については機能廃止等の見直しをする必要があると考えているが、機能を廃止する場合は民間事業者や地元などとの協議を行った上で、本市の財政負担が生じないことを前提に建物の譲渡や貸し付け等の有効活用を図れないか検討する必要がある。

また、ソフトボールの利用者減少を受け、グラウンドの機能集約や多目的化など、再編成を行う必要があると考える。今後はソフトボールに限らず競技人口の推移や市民ニーズを把握し、施設の有効活用を努める。



かたや しゅういち
議員
片矢 修一
市民クラブ

福井市施設マネジメントアクションプランについて

質問

美山庭球場「ウイנק」は機能廃止の方向性だが、もう一度丁寧に利用者や地域住民の意見を聞き取り、方向性を見直すべきではないか。

また、施設の存続条件の「経費負担が発生しないこと」という前提を「できるだけ経費がかからないように」と変更すべきではないか。

回答

施設の方向性を見直しについては機能廃止から民営化への変更など、市の財政負担なく機能が維持される場合には、方向性の変更もあり得ると考えている。

アクションプランは施設の老朽化や更新費の増加により、全ての施設を維持することが難しいことから、施設マネジメントの取り組みをより一層推し進めるために作成するものである。可能な限り経費を抑えたとしても、将来の更新コストは発生するため民営化など本市の経費負担が発生しないことが最善の策と考えている。

※各議員の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の動画をご覧いただけます。



しもばた けんじ
下畑 健二 議員
公明党

福井市財政再建計画について

質問

70歳以上の利用者の入館料が無料になっている文化施設は来年度から有料とし、入館料をいただく方針になっている。財政の厳しさを理由に入館料を有料にするのはやめたほうがよいと思うが本市の見解は。

回答

市民アンケートで高齢者の入館料を一般と同額または一般より安い料金設定とすべきという意見が過半数を超えた。この結果を踏まえ、まずは70歳以上の方が無料となっている入館料について検討している。使用料の見直しは財政再建計画に掲げられており、着実に実行していくことが必要であるが、消費税増税の影響や財政再建計画の進捗状況を見極めながら、計画期間中の改定について引き続き検討していく。



はった いちいち
八田 一以 議員
一真会

民生委員について

質問

民生委員は無報酬で奉仕の精神を持って活動し、地域コミュニティを支える地域福祉の担い手である。しかし、近年ますますその負担が増大しており、民生委員の数が絶対的に足りない。民生委員を今まで以上に強く支援することが重要だと考えるが本市の見解は。

回答

民生委員の定数設定については地域の希望や実態に合わせてよう努めているが、人材の確保が大きな課題となっている。民生委員が活動しやすい環境づくりに努めるほか、全国共通の課題である担い手確保の仕組みづくり等については、全国市長会から国に要望するよう市長会に働きかけている。少子高齢化が進み、今後も福祉に関する地域課題が複雑・多様化する中、民生委員の役割はますます重要になるため、支援については活動への影響が出ないようしっかりと対応していく。



あおき みきお
青木 幹雄 議員
政友会

当市のまちづくりについて

質問

平成27年12月に策定された福井市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略について、今年度は5カ年計画の最終年度だが、進捗状況と成果は。また、次期総合戦略策定の具体的な考え方は。

回答

総合戦略では、4つの基本目標ごとに数値目標を定めて取り組みを進めている。このうち、「福井の産業の強みを活かし、働く場を創出する」では、5年間の目標1,000人に対し、平成30年度末の実績で、934人となっている。また、人口減少の進行度合いは、国立社会保障・人口問題研究所の推計と比べ、緩和している。次期総合戦略の策定に当たっては、現状や課題を踏まえながら、本市の強みや特徴を活かした新たな施策を積極的に取り入れていく。



むらた こういち
村田 耕一 議員
市民クラブ

高齢化への取り組みについて

質問

大規模災害時において犠牲となる高齢者の割合は、全体の約60%以上となっており、速やかな避難支援により一人でも多くの生命が救われるよう適切な対応が求められるが、高齢者の速やかな避難支援について、本市ではどのように計画を立て、取り組んでいるのか。

回答

本市では、福井市避難支援プランに取り組んでおり、情報提供に同意された方の名簿を、自治会長や自主防災会会長などの地域の避難支援等関係者へ提供し、平常時からの支援体制づくりや災害時の避難支援、安否確認等に活用していただくこととなっている。また、自治会や自主防災組織に対し、出前講座や各種研修会を行い、災害時における身を守るための行動や避難する際の声掛けの重要性等について周知している。



すずき しょうじげい
鈴木 正樹 議員
日本共産党

東村市長の後援会と公民館の政治的中立について

質問

東村市長の後援会が開催する市政報告会の参加申込書を市内の公民館に提出することとなっているそうだが、これは公民館の政治的中立を侵すものではないか。その経緯と市長の認識は。また、その是正を求めるのがかか。

回答

後援会の会議では、公民館を申込書の提出先にしないうことを申し合わせていたにもかかわらず、3地区で「参加申込書を公民館に持ちください」との表現が入ったチラシが配付されていたことを確認した。後援会が迷惑をかけた公民館に対し、お詫びした。市民に公民館が参加申し込みを受け付けているような誤解を与えてしまったことは甚だ遺憾であり、公民館が政治的に中立であることを再度徹底し、指導した。

福井丸岡RUCKによるスポーツを活用したまちづくりについて



なかむら あやな
中村 綾菜 議員
無所属

質問 福井丸岡RUCKは、ほぼ県内の女性で構成される女子フットサルチームで、日本リーグでの優勝や、メダルを獲得したユース五輪の日本代表に選手を輩出するなど、強豪チームである。チームを活用し、スポーツの魅力や福井の魅力発信、女性活躍推進につなげていただきたい。

回答 福井丸岡RUCKのように全国で活躍している地元選手がイベント等に参加することは、市民がスポーツの楽しさに触れる絶好の機会となる。また、県外で開催されるイベントで本市の魅力をもPRしていただくなど、競技団体等とも連携して取り組んでいきたい。女性活躍推進としては、キャリアアップに向けた女性同士の交流会等で、「福井だからこそ頑張れる」という思いを紹介していただけたらと考えている。

福井市都市交通戦略について



いずみ かずや
泉 和弥 議員
一真会

質問 さくら通りは福井市の中心部と東西を一本で結ぶ基幹路線である。新たな乗り継ぎ拠点や公共交通の幹線の形成、バス専用路線の拡充やライダー路線の充実についてなど、実態を把握しながら、基幹バス路線として整備し、様々な可能性について検討していただきたい。

回答 現在の福井市都市交通戦略では、6方向の幹線軸という設定を行っている。将来的な全域交通ネットワークづくりに対し、どのような設定を行っていくことが最適であるかを、都市交通戦略の見直しを行っていく中で検討する。

福井市墓地公園の設置及び管理について



てらしま きょうや
寺島 恭也 議員
一真会

質問 福井市の管理する西墓地・東山墓地でも「墓じまい」「無縁墓」が増えている。墓地使用者が死亡した場合、承継者や使用者の変更の管理は行われているのか。また、使用期間中の管理料が徴収されていない現状をどのように考えるのか。

回答 墓地使用者の出入り管理について、墓地区画の使用を許可した場合は墓地台帳システムに使用者の住所、氏名等を登録し、墓地区画を返還する場合は返還届けを提出していただき、登録されている情報を削除している。また現在、使用者の継承手続が行われていない墓地区画の使用者の特定作業を進めており、できるだけ早く使用者を特定した上で、墓地管理料の取り扱いについて検討していきたい。

高知市との交流について



みながわ のぶまさ
皆川 信正 議員
一真会

質問 福井市議会では北陸新幹線福井開業に向けて誘客を図るため、坂本龍馬と福井の密接な関係を全国へ発信していくことを協議している。このような中、議会が先行し高知市との姉妹友好都市提携に進むことを懸念して、市長が不快感を示したと新聞で報じられたが本心は。

回答 本市は国内では熊本市、結城市と姉妹友好提携を結び、観光PRも相互に行っている。市町村合併前には旧清水町や旧越廼村も姉妹提携を結んでおり、合併後も地域間で交流が続き、さらに連携を深めたいとの声も聞いている。これらを踏まえて高知市との姉妹友好提携につながるのであれば、慎重に進めるべきではないかとの思いから発言したもので、不快感を示したものではありません。観光PR事業については、特別委員会の中で議論していただき、本市の認知度向上や観光誘客につながればと考えている。

重度障がい者医療費の窓口無料化



やまだ ふみは
山田 文葉 議員
日本共産党

質問 現在、重度障がい者医療費の窓口無料化は高校生以上の方には適用されていない障がい者の中には、医療給付費の償還払い制度を知らず、「医療費が高額のため受診できない」と病院を受診せずに重症化する方もいるため、高校生以上も窓口無料化の対象とすべきと考えるがいかがか。

回答 重度障害者（児）医療費等助成制度における高校生以上の受給者を対象に窓口無料化を実施した場合、国民健康保険の医療費に係る国庫負担金を減額することになり、加えて医療費が増加し、財政負担が大きくなるが見込まれる。入院に係る医療費も含め、無料化の対象拡大は県内一斉実施が望ましく、現時点で市単独での実施は考えていない。

※各議員の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の動画をご覧いただけます。



ふくの だいすけ
福野 大輔 議員
一真会

空き家対策について

質問

国土交通省が策定したガイドラインや他自治体の先進事例を参考に、市が収集した空き家に関する情報を所有者の同意を得た上で民間事業者団体に提供できる仕組みを検討すべきと考えますが、本市の見解は。

回答

不動産団体等との連携情報の共有を図ることは、空き家等の活用を図る上で有効であると認識している。空き家等実態調査に基づくアンケート調査では利活用の意向確認とあわせて不動産団体等への情報提供についての同意を確認し、所有者と不動産団体等をつなぐ一助になったものと考えている。

今後も空き家の利活用に関する相談を受けた際に所有者の同意を得られた場合には不動産団体等に情報提供していくことで、空き家の利活用の促進に努めていく。



すごう けいいち
菅生 敬一 議員
公明党

地球温暖化対策に関する実行計画について

質問

福井市では平成29年度から低炭素社会の実現を目指し「クールチョイスふくい」に取り組んでいるが、工夫を凝らしたチラシやCMを作成して、市民にもっとイベントの周知や温暖化対策の啓発を行うてはどうか。

回答

今年度は15秒CMを5種類作成し、ユーチューブにて広告配信を行う。また、「クールチョイスふくい」フェスタ及び高校生クールチョイス選手権についてはチラシやテレビ、ラジオ等で開催の告知を行う。さらに、スーパーや家電量販店などの店頭で啓発チラシを設置するとともに省エネや二酸化炭素削減につながる商品に「クールチョイスふくい」のポップを取り付けていた。今後市民がクールチョイスに取り組みきつかけづくりを積極的に行っていく。



さかきばら みつよし
神原 光賀 議員
政友会

福井市ICT利活用推進計画について

質問

行政サービスの向上のため、今後、AIを活用した総合窓口チャットボットやICTを活用した市民サービスの導入が必要と考えるが、本市の見解は。

回答

AIチャットボットと呼ばれる、人工知能を活用した自動会話プログラムについては、既に先進自治体において市民サービスの向上や行政事務効率化への取り組みに活用されている事例があり、本市もその手法や効果についての情報収集を行ってきた。今年度中に試験運用を行い、今後の導入に向けた研究を行う予定である。その他のICTを活用した市民サービスについても、先進地の事例等から、導入費用や効果について十分に検討し、導入に向けて研究、検討していく。



おくしま みつはる
奥島 光晴 議員
一真会

全国学力・学習状況調査の結果と道徳教育について

質問

本年4月に行われた全国学力・学習状況調査の結果は、小・中学校ともに12年連続で全国トップクラスであった。知育、体育は全国トップクラスであるが、この度、小・中学校で教科として導入された道徳においても大きな成果を上げて欲しいと考えるが、道徳教育の現状と展望を伺う。

回答

道徳性を養うという道徳教育の目標を達成するため、各学校では目指す児童生徒像を明らかにして、道徳教育推進教師を中心に計画的に進めている。

しかし、児童生徒の道徳的実践力が高まったかをどのように判断・評価するかが課題であるため、子どもの変容を見取る方法等について研究していく必要がある。

今後も子どもの道徳的実践力を高める授業作りを支援していきたいと考える。



こんどう みのる
近藤 實 議員
無所属

下水道事業の繰入金と値上げについて

質問

下水道事業における一般会計からの繰入金現状について、総務省の繰出基準に基づいて雨水処理費用を計算していないため、財政再建計画で示された繰出金の削減計画を白紙に戻して欲しいと考えるが見解は。

回答

総務省繰出基準に基づいて算定している経費は全額を一般会計から繰り出している。

財政再建計画で見直した1億円は、これまで一括で繰り出していた雨水処理施設建設費用の一般財源分を分割して後年度に繰り出すよう繰出方法を変更したことから見込んでいるものであり、繰出総額を減額するわけではないため、現時点で財政再建計画における繰入金の見直しは考えていない。

※各議員の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の動画をご覧いただけます。

予算特別委員会

各会派における
主な質疑内容を
紹介します。

一真会

皆川 信正 今村 辰和
奥島 光晴 泉 和弥
八田 一以 寺島 恭也

○福井市施設マネジメント アクションプラン

問 説明会に参加した市民からは、再度、説明会を開催してほしいとの要望を聞いているが、今後どのように対応していくのか。

答 地区単位の説明会にとどまらず、施設ごとに説明を求める声などもあるため、再度、説明会を行ってきたい。

問 このような状況にある中で、今年10月予定のアクションプランの策定は時期尚早と考えるがどうか。

答 市民説明会では多くの意見が寄せられており、今後、施設マネジメントの意義、必要性などについて、ご理解いただけるよう、さらに丁寧な説明が必要と感じている。

○県都デザイン戦略

また、個々の施設については地権者等との協議もあり、策定の時期については先延ばしせざるを得ないと考えている。

問 県庁舎や市庁舎を含めた福井城址と中央公園の一体的な再整備に関し、今月、市長と知事が意見交換を行った結果、10月にも県と市でプロジェクトチームを立ち上げることであるが、このプロジェクトチームで進めるま

ちづくりとはどのようなものなのか。

答 プロジェクトチームでは県と市が協力し、北陸新幹線福井開業に向け、住む人が楽しめるとともに、本市を訪れる人が心躍るような、県都の顔にふさわしい風格と賑わいあふれるまちづくりを進め、福井のよいところであるJR福井駅と福井城址、様々な都市機能が徒歩圏内に集積

している特長を生かし、活気と誇りに満ちたまちにしていきたいと考えている。また、櫓などの復元を含めた城址公園の整備については、庁舎が移転した跡地をどのように活用するのかといったことなど、福井城址全体の整備方針を描いた上で検討していくことになると考えており、知事も同様の考えであったと認識している。

志政会

石丸 浜夫 野嶋 祐記
藤田 諭

○ガス事業

問 来年4月の事業譲渡に伴い、企業局の職員が減ると同時に企業局庁舎にも空きスペースが生じるようになるが、このスペースをどのようにに活用していくのか、また、ガス事業譲渡に併せて水道事業と下水道事業の組織統合の話も出ているが、どのような状況であるのか。

答 事業譲渡によって生じる空きスペースは、現在、ガス工場に設置している技術研修センターの移転を計画し

ているほか、庁舎1階のガスシヨールーム部分については、本市とまちづくり福井株式会社主催する実践型リノベーションまちづくり講座「ディスプレイバリー福井」において、中央公園との一体的な利活用を検討しているところである。

また、水道事業と下水道事業の組織統合については、窓口の一本化や経営の効率化、危機管理体制の強化などの観点からも両事業を統合することがベストであり、統合時期については、ガス事業譲渡と同時に最も望ましいと考えている。

市民クラブ

玉村 正人 酒井 良樹

○地域公共交通

問 グーグルマップなど、スマートフォンで現在地から目的地までの移動手段や時刻表、料金などの交通情報を一括して提供するサービスの促進について市はどのように対応するのか。

答 本市で運行している路線バスの情報は、現在、グーグルマップに反映されていない

ため、経路検索を行ってもバスの乗り継ぎ情報等は示されない。ただし、京福バスでは自社で運行する路線バスやすまいるバスの情報を、今年10月以降にグーグルマップに反映させていく予定であると聞いており、本市としても地域バスや地域コミュニティバス情報のグーグルマップへの反映について検討していきたい。

政友会

青木 幹雄 神原 光賀

○恐竜と福井の輝き

問 近年、福井といえば恐竜をまずイメージする県外在住の方がふえてきている中、恐竜を世界的に広めていくという役割をふくい嶺北連携中枢都市圏の中心都市である福井市としても担ってはどうか。

答 JR福井駅西口の恐竜モニメントや駅舎壁面の恐竜トリックアートをバックに写真を撮られる県外観光客がふえており、恐竜が福井での旅の思い出づくりに貢献している。このような恐竜の位置づけをしっかりと捉え、県下

全域の観光PRを担うという
県都としての福井市の役割を
認識しながら、推進していく
必要があると考えている。

公明党
菅生 敬一

○学校プール

問 今年度のプール開放の日
数が昨年度に比べ半数以
下となったが、来年度のプー
ル開放事業の実施方針はどの
ように考えているのか。

答 今年度は遊泳する児童と
その監視を行う引率者の
安全を最優先に考え、監視方
法に加え、熱中症を予防する
ためにプール開放の中止基準
を設定した。一方で、利用者
からは基準が厳しすぎるとの
意見が多くあったことから、
今後、学校や保護者へのアン
ケートを実施し、その結果を
踏まえて、中止基準や実施の
時間、開放する期間を見直し、
より利用しやすい体制として
いきたい。

日本共産党
鈴木 正樹

○要介護認定者の障がい者
控除

問 確定申告前の時期に担当
のケアマネジャーにチェツ
クシートを配るなどして、障
がい者控除の対象になる可能
性があることを本人やその家
族に周知徹底できるような仕
組みづくりはできないのか。

答 障がい者控除の制度につ
いて周知徹底を図るため、
介護認定結果に同封するお知
らせを分かりやすくすると
もに、認定申請書を同封する
ことについても検討していき
たい。また、制度の説明につ
いてケアマネジャーや施設に
協力を依頼していきたい。

予算特別委員会の動画をご観いただけます。



(9月20日)



(9月19日)

議案等の審議結果				
(9月定例会)				
議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は15頁に掲載)
第 65 号議案	令和元年度福井市一般会計補正予算	9月26日	原案可決	●
第 66 号議案	令和元年度福井市後期高齢者医療特別会計補正予算	〃	〃	
第 67 号議案	福井市地域交流プラザの設置及び管理に関する条例の一部改正について	〃	〃	
第 68 号議案	福井市印鑑条例の一部改正について	〃	〃	
第 69 号議案	福井市民生委員定数条例の一部改正について	〃	〃	
第 70 号議案	福井市特定教育・保育施設等の利用者負担に関する条例の一部改正について	〃	〃	
第 71 号議案	福井市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃	〃	
第 72 号議案	福井市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃	〃	●
第 73 号議案	福井市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部改正について	〃	〃	
第 74 号議案	福井市消防団条例の一部改正について	〃	〃	
第 75 号議案	福井市消防手数料条例の一部改正について	〃	〃	●
第 76 号議案	福井市水道給水条例の一部改正について	〃	〃	
第 77 号議案	工事請負契約の締結について (東安居団地F棟新築工事)	〃	〃	●
第 78 号議案	財産の取得について (CD-I型消防ポンプ自動車)	〃	〃	●
第 79 号議案	財産の取得について (水I-B型消防ポンプ自動車)	〃	〃	●
第 80 号議案	市道の路線の廃止について	〃	〃	
第 81 号議案	市道の路線の認定について	〃	〃	
第 82 号議案	監査委員の選任について	9月2日	同意	
第 83 号議案	公平委員会委員の選任について	〃	〃	
第 84 号議案	平成30年度福井市各会計歳入歳出決算の認定について	9月26日	継続審査	

議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は下部に掲載)
第 85 号議案	平成30年度福井市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	9月26日	継続審査	
第 86 号議案	平成30年度福井市ガス事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃	〃	
第 87 号議案	平成30年度福井市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃	〃	
第 17 号報告	債権放棄の報告について	9月2日	受理	
第 18 号報告	公益財団法人福井市ふれあい公社の平成30年度決算に関する報告について	〃	〃	
第 19 号報告	公益財団法人福井市ふれあい公社の令和元年度事業計画等に関する報告について	〃	〃	
第 20 号報告	まちづくり福井株式会社の平成30年度決算に関する報告について	〃	〃	
第 21 号報告	まちづくり福井株式会社の令和元年度事業計画に関する報告について	〃	〃	
第 22 号報告	公益財団法人福井観光コンベンションビューローの平成30年度決算に関する報告について	〃	〃	
第 23 号報告	公益財団法人福井観光コンベンションビューローの令和元年度事業計画等に関する報告について	〃	〃	
第 24 号報告	公益財団法人歴史のみえるまちづくり協会の平成30年度決算に関する報告について	〃	〃	
第 25 号報告	公益財団法人歴史のみえるまちづくり協会の令和元年度事業計画等に関する報告について	〃	〃	
第 26 号報告	平成30年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	9月26日	〃	
市会案第 1 号	新たな過疎対策法の制定を求める意見書について	〃	原案可決	
市会案第 2 号	地方財政の充実・強化を求める意見書について	〃	〃	

(9月定例会) 請願・陳情等の審議結果				
請願・陳情番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は下部に掲載)
陳情第 1 号	新たな過疎対策法の制定を求める意見書提出について	9月26日	採択	
陳情第 2 号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出について	〃	〃	
陳情第 3 号	美山庭球場「ウイंक」の存続について	〃	不採択	●

賛否が分かれた議案等一覧

賛 …賛成
 反 …反対
 退 …退席
 ※原則議長（堀川秀樹）は採決に加わりません。

議案番号	審議結果	一真会										志政会				市民クラブ		政友会			公明党		日本共産党		無所属									
		皆川	見谷	今村	奥島	堀江	田中	泉	八田	福野	池上	寺島	加藤	石丸	野嶋	藤田	伊藤	玉村	片矢	村田	酒井	青木	水島	榊原	岩佐	下畑	菅生	津田	鈴木	山田	堀川	中村	近藤	
第65号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第72号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第75号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第77号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第78号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第79号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
陳情第 3 号	不採択	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	

議会日誌 (令和元年7～9月)

7月9日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会 議会運営等懇話会 (あわら市)
16日	全国競輪主催地議会議長会 監事会 (東京都)
17日	// 正副会長・監事・相談役会議 (東京都)
18日	福井駅周辺整備・道路・河川事業要望活動 (大阪府)
19日	福井県市町総合事務組合臨時議会
24日	福井駅周辺整備・道路・河川事業要望活動 (東京都)
25日	全国市議会議長会 正副会長会議 (東京都)
	// 第220回部会長会議 (東京都)
	// 第216回理事会 (東京都)
26日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会議会全員協議会・第175回定例会 (あわら市)
30日	中核市議会議長会 総会 (福島県)
8月9日	福井県市議会議長会 定期総会
23日	議員全員協議会、議会運営委員会
26日	観光振興・歴史文化活用対策特別委員会
28日	北信越市議会議長会 理事会

9月定例会

9月2日	議員全員協議会、本会議
3日	議会運営委員会
9日	本会議 (一般質問)
10日	本会議 (一般質問)
11日	本会議 (一般質問)
12日	総務委員会、建設委員会
13日	教育民生委員会、 経済企業委員会
19日	予算特別委員会
20日	予算特別委員会
24日	議会運営委員会
26日	本会議



編集後記

過ぎしやすい季節となりました。今定例会では予算特別委員会も開催され、一般質問と併せて活発な議論がなされました。特集として、各常任委員会の視察報告、市議会をのぞいてきたよ！で議場の様子や気になることの解説を山田委員のイラストでわかりやすく掲載させていただきました。今後も市民の皆様にも身近な議会と感じていただけるような紙面づくりに努めてまいります。皆様のご意見・ご要望などをお待ちしております。
(加藤・野嶋)

一般質問の録画映像を各議員ごとにスマートフォンやタブレット端末で見れるようになりました。

一般質問ページにおいて、各議員の顔写真真欄にある二次元コードをスマートフォンやタブレット端末から読み取ると、その議員の一般質問の動画が視聴できます。



市議会HPはこちらから

請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、基本的にいつでも提出できますが、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局へお問い合わせください。

市議会だよりNo.214(8月10日発行)の記事に下記のとおり誤りがありましたので、お詫びして下記のとおり訂正します。

○誤りがあった箇所

- ① P3主な議案 6月定例会令和元年度補正予算の記事のうち(2段目中ほど)
誤: 所得税等において寡婦控除が**摘要**されない(以下略)
正: 所得税等において寡婦控除が**適用**されない(以下略)
- ② P3委員会審査 総務委員会関係の記事のうち、P4の《日本政府に「核兵器禁止条約」への賛同と批准を求める意見書提出について》(意見4行目)
誤: 率先して条約に賛同して**各**保有国に働きかける(以下略)
正: 率先して条約に賛同して**核**保有国に働きかける(以下略)



傍聴してみませんか

傍聴できる会議

なお、本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送されます。

※議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをおすすめします。

本会議

定員97人 うち車イス6席

常任委員会

総務、建設、教育民生、経済企業

議会運営委員会

特別委員会

予算、観光振興・歴史文化活用対策

議員全員協議会



お問い合わせ

議会事務局 庶務課

次回は
12月定例会
です

日程は
ホームページに
掲載します

0776-20-5506